

# 公民館だより

由良 昭56年 7月

## 本年度由良公民館活動方針

館長 藤本秀雄

### 理念

1. 公民館活動の基底は人間尊重の精神である。
2. 公民館活動の核心は生涯教育の態勢を確立するにある。
3. 公民館活動の究極のねらいは住民の自治能力の向上にある。

### 目標

1. 明るく住みよい由良にするために、みんなが知恵を出し合い努力していきなす。
2. 区民相互の連帯を深める。
3. 教養やスポーツ、趣味などを通じて、健康で明るい人間関係を育てる。
4. 社会教育団体や関係機関との連絡調整を密にして公民館活動の充実に努める。

### 努力点

1. 住民活動の推進
  - 生活会議運動をすすめる(ふるさと教室の延長)
2. 健康と安全教育の推進
  - 盗犯防止重点地区としての推進に協力する。
  - 区民大運動会を開催する。
3. 文化活動の推進
  - 文化祭を開催する。

### 4. 由良の里センターの活用

#### (生活会議運動について)

もつと住みよい由良にしたい。みんなが集い語り合って、安心して暮らせる地域社会を築きたいとこればかりがきつと考えています。こんな住民の願いや夢を力を合わせて実現させていくのが生活会議運動です。由良に住む人たちが、知恵を出し合い協力し合って由良の課題を解決し、一步一步「住みよい由良」を築いていく運動です。

二年間続けてきた「ふるさと教室」の延長として青少年の問題に限定せず、明るく住みよい由良にするため話し合い、合意した地域課題を解決するために対話集会(生活会議)を開催します。

## 報告(一) 主事 平間 克己

### 昭和五十六年度

- 運営審議会委員(順序不同、敬称略)
1. 中野孫兵衛 自治連合会長
  2. 宮本自治会長
  3. 市会議員
  4. 西之上熊吉 臨自治会長
  5. 岸田幸吉 次野自治会長
  6. 山田 昭 港自治会長
  7. 岸田 勇 下石浦自治会長
  8. 山下良作 上石浦自治会長

- 7 山下伊左衛門 市会議員
- 8 角尾好美 小学校長
- 9 四方寿郎 前公民館長
- 10 中田 一 小学校教育友会長
- 11 大森秀郎 中学校教育友会長
- 12 小室三三子 婦人会長
- 13 山下伊東 老友会長
- 14 中井西太 子供会連絡協議会長
- 15 小室文夫 社会体育指導員

### ▽本年度の事業

#### 一、公民館

- (1) ふるさと教室、あいさつ運動を継続する
- (2) 成人式、成人の確認、連絡、当日の世話
- (3) 新生活運動、新生活会議(対話集会)

#### 二、文化部

- (1) 公民館だより 年三回(六月、十月、三月)
- (2) 座談会 由良を良くする「テーマで
- (3) 盆踊り 八月二十三日(盂蘭盆) 午後八時より午後十時まで
- (4) 史跡めぐり 八月三十日(日) 久美次方面 公民館関係者の研修
- (5) 文化祭 十一月十五日 生花、書道外
- (6) 図書購入と奨励 日曜以外開館
- (7) 郷土史の研究と推進

### ▽部員(敬称略)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 部長 坂本 同  | 副部長 小松 賢輔 |
| 部員 中井 西太 | 矢野 善記     |
| 杉本 舜一    | 中田 英雄     |
| 小室 仲次    | 石角 正弘     |
|          | 榊田 康秀     |
|          | 山下 良一     |

### 三、体育部

- (1) 由良岳登山 四月二十九日、雨天の時は五月三日、午前九時より、午後二時下山
- (2) ソフトボール大会六月七日(さのぼり) 団体対抗(公民館、育友会、消防団、実業会) 八月十五日、雨天中止
- (3) 球技大会 九月十三日、雨天の時は九月十五日
- (4) 地区大運動会 九月十三日、雨天の時は九月十五日
- (5) バレーボール大会二月七日(日) 四部対抗男女
- (6) その他 栗田地区と親善試合を検討する
- (7) スポーツサークル

- 剣道(火金) 卓球(月) バトミントン(水土)  
バレーボール(木日) 野球、ソフトボール 不定時

### ▽部員(敬称略)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 部長 大森 治     | 副部長 岸田 剛 |
| 部員 浜田 吉明    | 森本 松二    |
| 中田 孝        | 山田 良明    |
| 田中八重子       | 中西 田鶴子   |
| 兼剣道講師 小室 文雄 | 北野 薫     |
|             | 瀬戸野 吉世   |

### 四、去年より殖えた事業

- (1) 団体対抗ソフトボール大会
- (2) 地区大運動会

四月二十九日

一、由良岳登山  
 今年も好天に恵まれ、多くの家族友人知人達が元気よく登った。その上念願だった記念スタンプが北野重氏の御尽力により出来上がった。このスタンプは見事な作品で、京都新聞では強い関心を持って、写真付きで掲載した。又登山の皆様にも喜ばれ、特に小学生諸君からは競って捺印を求められた。登山者も去年(約二〇〇人)より増え二二三三人、中には宮津舞鶴方面からも当日の登山を知って参加した人もあり、年毎に増える傾向である。

二、団体対抗ソフトボール大会 六月七日

第一回戦

実業会 十 — 七 公民館  
 育友会 九 — 三 消防団

優勝戦

実業会 十 — 二 育友会

又し振りの団体対抗戦で、勝敗に拘わらず、和気藹藹の中  
 で明るいうムードで試合が続けられ、楽しい一日であった。  
 敗れたチームからは、三位決定戦をして欲しいとの要望もあ  
 った。試合開始時間が午後一時からで時間的に無理であった  
 が、来年は期待に副うよう計画する必要がある。

▽おしらせ△

由良に二つの同好会が誕生しました

一、由良カメラクラス

会長 中西 健之上 会計 中西 衛

自然環境活用由良の里

センター建設について

自治連合会長 中西孫兵衛

由良地区の皆様、炎熱のさがたい毎日でございますが、  
 ご健勝でそれ以外のお仕事に励んでおられる事とお喜び申し  
 上げます。

日頃は由良地区すべての問題にご理解とご協力を賜ってお  
 り、この度は由良の里センターの完成にもなりました。備品  
 等の整備のため大変ご無理をお願い致しましたところ、格別  
 のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

切て、今回大変立派な、モダンな、しかも実用的な由良の  
 里センターが完成されました。この建物は、農村地域農業構  
 造改善事業(自然活用型)(緑の村整備事業)の一環として、  
 国、府、市の補助を受けて、昨年末に着工して、ごう雪では  
 ありましたが予定通り六月に完成を見ました。このセンター  
 が私達の新しい町づくりの拠点として発展してまいります事  
 をお願い致します。

施設は、鉄筋コンクリート造り二階建て(延べ四百三十二  
 平方メートル)一階は事務室(四十二平方メートル)のほか  
 由良の特産や郷土資料を紹介する展示室(二十六平方メー  
 トル)休憩室、会議室の和室三室(四十四平方メートル)それ  
 に地域婦人会の生活改善や料理講習のための料理実習室(三  
 十九平方メートル)

二階は、百人収容の大会議室と和室、二十一畳の小会議室  
 など、またセンター前にはバス二台、乗用車二十四台分の駐  
 車(千五百四十平方メートル)も完備  
 総事業費六千六百万円

会費 一月五〇〇円

月例 毎月十八日

会場 由良中央公民館

主旨 どうすればもっと良い写真がとれるか

より良い自然の中に生き甲斐を写真に求めて  
 男女年令を問わず、御入会下さい

二、由良OB野球クラス

会長 大森 寅一 副会長 坂下 寛次郎

会計 新宮 義雄

幹事 島田 定雄(脇) 小西 一夫(宮本)

千坂 昇(浜、路) 通木 光夫(港)

山下 清一(下石浦) 山下 伊左衛門(上石浦)

会費 年間五〇〇円(上期二五〇円下期二五〇円)

練習日 毎日曜日午前八時より午前十時迄

主旨 五十才以上の方々が自ら好きな野球で体を鍛え、残

されを人生を健康で、幸せに暮らす事を念願する。

尚、入会者は幹事を通知、申し込み下さい

以上、二つを紹介致します。

由良歴史代館長名(敬称略)

- 初代 中西 六右衛門 昭和二十八年?三十二年三月
- 二代 井土 巖 " 三十一年四月?三十二年三月
- 三代 中西 林兵衛 " 三十二年四月?三十七年三月
- 四代 岸田 六右衛門 " 三十七年四月?四十一年三月
- 五代 四方 寿朗 " 四十一年四月?五十二年五月
- 六代 藤本 秀雄 " 五十二年六月?

これ迄の中央公民館と同様各種団体をはじめ、みなさん方の活  
 発なる利用を期待します。折角の立派な施設であり、何時まで  
 も大切に活用していただきたいと念じております。

この施設は、由良自治連合会が市より本託を受け管理運営を  
 する事になっており、また始めての事でもあり色々不便をお  
 かけする事と思ひますが、使用につきましては、前もって申  
 言をいただき、使用規定を守って下さいませお願い申し上げます。

文化祭に出口を

公民館は、毎年文化祭を催し地区の皆様方の御協力によって  
 地区文化交流の一助として役割を果たして参りました。

今年も秋に開く計画を樹て文化部でその対策を練っておりま  
 す。従来に増して賑わしい充実した内容で皆さんに喜んでい  
 いただける文化祭にしたいと願っております。どうか御意見、御要  
 望をお寄せ下さい。

開催日時は今の処未定ですが、予定は大体十一月中頃と考  
 えております。

出品物は一朝一夕にはまとまらず、出来上らないと思ひます  
 。早いようすが今から始めて丁度よい位になるのではないで  
 しょうか。出品作品の制限は何もございません。どんなもので  
 結構です。自作に限りません。勇気を持って考えて下さい  
 見て喜ぶ人も有れば、或人には何か役立つ事に連なる場合も出  
 来るかも知れません。

文化祭は公民館のものではなく皆様のものであります。つな

りの場、見聞の場として、気楽に利用し楽しんでいただく事に御世話をしているものです。  
今年も文化祭が皆様の協力により、盛大に開催出来ることを願って、御案内とします。

文化部

由良公民館

お願い

由良公民館は、今年度中に「由良岳由來記」を著述し、後世に伝えたいと思います。  
特に与作じいさんの事を知りたいのです。

1. 与作じいさんは独力で由良岳の頂上に祠を石を集めて築きあげ、その祠に「虚空菩薩」をお祭りした信仰心の厚い人です。

2. 由良岳はどの山と比べて低いとされるか

1 青葉山 2 赤岩山

3. 十三参りについて

右の事を御存知の方は、由良中央公民館に書類か又は電話で御連絡下さいれば、お伺いして承ります。  
名利に拘らず、自らを犠牲にし、難行苦行の果、山頂に立

派な祠を建てられた。与作じいさんに感謝し、この事を発表し、心に銘記する事により、与作じいさんの冥福を祈りたいと思います。

投稿のお願い

経費の都合もあり、総てを文化部員の手盛りによって発行してあります。

このため不手際もあって読みにくい紙面もあろうとは思いますが、何卒御容赦下さい。一戸に一部あてと部外配布分を含め約600部の作成に対し一同が充実した内容で、皆様方にお届けしたいと、張り切っている処でございます。

本年も七月、十一月、三月、の三回公民館をよりを発刊する計画を樹てました。内容は公民館の活動状況、行事報告と合わせ一般地区の方々から投稿していただいたもので編集して参りますが、投稿が今一つ少なく紙面の寂しさが目立ちます。

折角ここまで育ったものでありますし、今後もながく継続していけるよう皆様方からのより多くの投稿を期待し尚一層親める又充実した公民館をよりになるよう願っております。

原稿の内容は問いません。どんな事柄でも結構です。恥かしいなどとは考えず、又遠慮も不要です。どしどし投稿をお願いします。

文化部

### 投稿規定

▽紙面のペンネームは可とするが、原稿には必ず住所、氏名を明記すること。

▽原稿に関する取捨はすべて編集部に一任のこと。

▽投稿は、四〇〇字詰中判(A4)原稿用紙を使用し、階書のこと。尚原稿用紙は二枚以内とすること。

▽締切りは、六月、十月、二月のそれぞれ末日までとする。

▽原稿は、近くの公民館幹事まで